

## 3月11日は「防災意識を育てる日」

日本で全国的な防災訓練が行われるのは、1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災に由来する9月1日の「防災の日」ですが、この防災訓練は台風シーズンと重なることから中止となることもあり、「防災の日」としての目的を果たせないこともありました。そこで、どの世代にも記憶に新しい2011年（平成23年）3月11日に発生した東日本大震災の日を「防災意識を育てる日」として、国民の防災意識向上を図る記念日に制定されました。

東日本大震災は様々な記録も残されていることから、毎年3月11日はメディアでも震災について多く触れられ、防災特別番組なども企画されるため、震災の経験を風化させず、また、震災で得た教訓を次の世代につないでいくために家族や職場などで防災について話し合い、行動してもらうきっかけとなりやすいことも、この日が「防災意識を育てる日」と制定されて理由となっています。

災害はいつどこで発生するか分からず、常に備えをしておくことが大切ですが、ずっと防災意識を高く持ち続けるというのは意外と難しく、簡単にできることではありません。

これら記念日をきっかけに、災害への備えを定期的を確認しましょう。

〈 防災士 荻野 勝也 〉

**日頃から備えを!!**

